



あじけんでは、定期的
に設備のメンテナンス
が行なわれています。
写真は8月2日に行な
われた寮の下水道の高
圧洗浄の様子です。

あじけん通信

2012 August
VOL.56

株式会社ティビィシィ国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

8月に入りアジ研も連日暑い日が続いています。本来暑さには慣れていないはずのインドネシア人実習生の皆さんも、「にほんは あついです」と言うほどです。よく話を聞いてみると、インドネシア（バリ島）の気温も日本と変わらないそうですが、風が涼しいので日本よりも過ごし易いようです。「にほんは かぜもあついです」と驚いていました。一方、中国の湖南省から来ている実習生の皆さんの中には、「いま、わたしのふるさと（湖南省・長沙市）は、40 どころいです。にほんは あつくないです」と涼しい顔をしている実習生もいます。現在のところ暑さで体調を大きく崩す実習生はいませんが、水分の補給・十分な栄養と睡眠の確保等「ねっちゅうしょう」への対策を毎朝の「健康チェック」の時間を利用して呼びかけています。

あじけんスコープ VOL.1



今月からコーナー「あじけんスコープ」をお届けすることになりました。あじけんでの実習生の皆さんの寮生活を様々な視点からレポートしていきます。第1回目は、寮生活の必需品！入寮時に各実習生に配付されている生活用品をご紹介します。



水切りネット

あじけん入寮セット

水きりネットやサランラップは、母国では使ったことがない実習生も多いため、入寮時に使い方の説明を行なっています。また、スーパーの買い物袋をゴミ袋として再利用する等の生活の知恵も指導しています。約1ヶ月の寮生活でこれらの日用品の使い方を覚えることも、当センターでの大切な学習の1つとなっています。また、トイレトペーパー・ゴミ袋・水きりネットは、なくなり次第補充されますが、自己申告制となっているため、生活用品の配付は、実践的な会話練習の場としての役割も果たしています。

今月の実習生



向かって左からインドネシア人実習生の ARLIN（アルリン）さん・NANINAINUL（ナニ）さん・ARUM（アルム）さん・SULAKSONO（ソノ）さん。敬虔なイスラム教徒の4人は、現在ラマダン（断食）中。朝の3時～夜の7時まで、食べ物・飲み物を一切口にしません。入寮当初は、猛暑の中、果たしてやっていけるのかスタッフ一同心配しましたが、体調を崩したり、授業中、集中力を切らすことなどもなく、とても元気に日本語学習に励んでいます。この断食は7月21日から始まっていて、8月18日まで続くそうです。アルリンさん・ナニさん・アルムさん・ソノさん、頑張れー！

あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、「夏の暑さ対策・健康管理」をテーマに行なわれたコミュニケーション活動の様子をレポートします。

活動の形式はグループワーク。20名（インドネシア人実習生14名・中国人実習生6名）のクラスを5人1組にして、4つのグループを作りました。ポイントはインドネシア人実習生と中国人実習生の混合グループを作る点。こうすることで、お互いの国の「暑さ対策・健康管理」についてのインフォメーションギャップが生まれ、コミュニケーション活動へのモチベーション（この場合、相手の国のことが知りたい・自分たちの国のことを知ってもらいたいと思う気持ち）が高まり、より活発で実践的なコミュニケーションが可能になります。その結果、初級レベルの実習生ながら、「知りたい」「話したい」という気持ちから、自分たちが知っている単語や文型を間違いを恐れることなく積極的に口に出し、話し合いは大いに盛り上がりました。また、「夏の暑さ対策・健康管理」という自分たちの実生活に直接関係するテーマを与えることも、活発なコミュニケーション活動を引き出すポイントとなっています。

ちゅうごくでは あついとき
あたたかいみずを たくさんの
のむと げんきになります。



ちゅうごくで あついとき
どうやってげんき
になりますか？

インドネシア人実習生と中国人実習生の混合グループによる話し合い

わたしたちのグループのインドネシア人は あついとき にくを たくさんたべて げんきになります。ちゅうごくじんは スイカをたくさんたべて げんきになります。



話し合いの内容をグループの代表者が発表



インドネシアと中国では、暑い時に元気になる方法が違います。これは文化の違いだと思います。違う文化を知るとはとても面白いです。先生から日本人が暑い時にすることも聞きました。いろいろ勉強になって、たのしかったです。

インドネシア共和国：I NYOMAN YASA SUYADNYA（ヤサ）さん